

【朝日村】1人1台端末の利活用に係る計画

2025年3月

項目	内容	※留意事項
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	＜全校研究テーマ＞ 「学ぶ楽しさを味わいながら、自ら課題を解決してく子どもを育てる授業作り」 ＜R6年度ICT研究テーマ＞ 「一人ひとりの子どものスキルや本時につける力を明確にしなが、ICT機器を有効活用するにはどうしたらよいか？(LMSの活用を通して)」	・学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(令和3年1月)等の内容並びにこれらに引き続き政府の議論も踏まえ、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を通じて実現を目指す学びの姿を記載する。
②GIGA第1期の総括	・端末にはWindows10を採用、児童の利用ではカメラ周りの不具合が多く、書面→デジタルへの移行に不都合があった。 ・R2年度からGIGA端末接続用のネットワーク整備。回線容量不足と思われる画面更新待ちがしばしば観測されている。 ・教室内情報共有環境として書画カメラを全普通教室と一部の特別教室に配置。大型提示装置としては既存の据え付けTVを活用。TVの設置位置が黒板上になっており画面面積の制限もあるため、一部の児童からは見づらくなっており、より大型の画面が必要と思われる。 ①プログラミング学習環境を使い自分なりにアルゴリズムを探索する ②イベントの感想をプレゼンテーションとして資料にまとめて共有する ③デジタルドリル教材を活用した授業内容の復習 等の授業活用が進んでいる 端末とインターネット環境活用で端末を文房具として使う流れは作れているが、単元自由進度学習など児童自身がPDCAを回す様な学習実践はまだない。	・①も念頭に、令和5年度までの間にGIGAスクール構想の実現に向けて実施してきた端末と通信ネットワークの整備や、これらを活用した学びの実践のための取組等の総括を行い、その結果を記載するとともに、明かになった課題については、その解決策とともに記載する。
③1人1台端末の利活用方策	【1人1台端末の活用】 ◎ICT研究部会での授業実践を通じて「効果がある」端末の使いの方事例を作る。 ◎放課後の端末持ち帰り～自宅学習への活用を指導(2学期)。 ◎各学級の活用実態調査実施(10/7～18)→状況を把握する。 →常用的に持ち帰りができるように授業の作り方を工夫する事例を検討する(3学期)。 【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 ○11/26(火)研究授業・・・塩尻市教委 島津指導主事ご指導予定 ◎ICT研究部会にて研究授業の授業案をベースに議論。特に授業を通じて子どもに何を身に着けてもらうのかを吟味した授業案になる様に議論を深め、記録として残し今後の各教員の研鑽に活用できる様にする。 【学びの保障(臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒)】 ◎「タブレット利用の約束(R6年度版)」の作成・配布し、端末持ち帰り学習に備える。 ◎放課後の端末持ち帰り～自宅学習への活用を実践(2学期中随時)。 →常用的に持ち帰りができるように授業の作り方を工夫する事例を検討する(3学期)。 【学校内利用環境の整備・見直し】 ◎ネットワーク環境上の課題深掘り(ネットワークアセスメント実施)と早期解消。 →全員アクセス時の接続トラブルを0にする対応をR7年度予算で実施。	・①及び②を踏まえ、端末の利活用方策を記載する。その際、1人1台端末の活用、個別最適・協働的な学びの一体的な充実、学びの保障の視点に触れて方策を記入する。 端末の利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することを明記する。

※この計画は「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」の15ページを参考に作成。